

令和5年度東北地区国立大学法人等技術職員研修

技術第2班 遠藤 健太郎

1. 目的

東北地区国立大学法人等の教育・研究支援系技術職員に対し、講義、技術発表及び実技等を通して、高度の専門知識及び技術等を修得させ、もって、職員の資質の向上等を図ることを目的とする。

2. 期間

令和5年9月13日(水)～15日(金)

3. 主催及び会場

主催：(一社)国立大学協会東北地区支部

会場：秋田大学手形キャンパス

(60周年記念ホール)

4. スケジュール及び内容

<1日目 9月13日(水)>

12:00-12:50 受付

12:50-13:00 開講式

13:00-13:30 受講者自己紹介

13:30-14:30 特別講演①

「遺伝子改変マウス作製による免疫学的研究」

講師：海老原 敬 氏

医学系研究科 教授

BERSC センター長

14:30-15:30 特別講演②

「内閣府交付金事業における電動化研究」

講師：田島 克文 氏

理工学研究科 教授

共同サステナブル工学専攻長

15:30-17:00 技術発表

形式：ポスター発表 7件

17:00- 情報交換会

会場：大学会館イベント

ホール

<2日目 9月14日(木)>

9:00-12:00 実技研修

「VR アプリ開発入門」

12:00-13:00 昼休憩

13:00-17:00 午前の続き

<3日目 9月15日(金)>

9:00-11:30 技術発表1部 7件

形式：口頭発表

11:30-13:00 昼休憩

13:00-14:00 技術発表2部 2件

形式：口頭発表

14:00-15:00 実技報告会

15:00-15:10 閉講式

5. 研修会に参加して

本研修会の1日目では各受講者の自己紹介からはじまり、特別講演及びポスター発表が行われた。特別講演では免疫学やDNA、たんぱく質など様々な内容の理論・原理を拝聴し、非常に専門的で難しい内容であったが分野外の知識を深められた。また、車や航空機のエンジンや内部構造、秋田大学が小型軽量電動化システムの研究開発による産業構築の推進スキーム、研究しているモーターの紹介等、多岐に渡る内容を拝聴して知見を広げる事ができた。ポスター発表においては、大学職員の日々の取り組み事例の見聞や情報交換ができ、有意義な時間を過ごせた。

2日目の研修ではVRゴーグル機材とゲームエンジンUnityを使用して、使用法の基礎からアプリ開発まで行う事ができた。自身も研究業務でUnityを使用したアプリ開発経験はあるが、VR開発は未経験であったため、今後に十分活かせる内容であった。

3日目の口頭発表では、奨励研究費による取り組みの成果を報告した。質問等を3件程頂き、発表の実績を積む事ができた。